

海賊飛行船タイガース 1/144エッチングモデル

組み立てガイド組み立てガイド

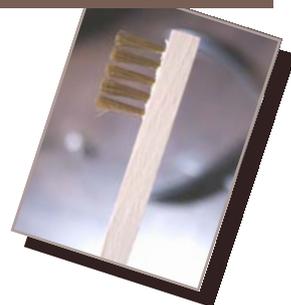
講師：藤井秀洋

1 ホワイトメタル製部品の加工



メタル製部品はゴム型からはずした状態のままですと表面が荒れています。真ちゅうブラシ、板ヤスリ、紙ヤスリなどでよく磨いて、きれいに整えておきましょう。

真鍮ブラシを使います



メタル製部品にはヒケ（※）やゆがみがありますので、エッチング部品との接着面はヤスリで削って平らにしておきます。

（※）ヒケ=金属は固まるときに収縮するため、本来は平らな表面がややへこんだ状態をさす。

オモテ



ウラ（接着面）



ヤスリがけをします



0.5ミリドリルです



フラップターの胴体両側にある主翼の取り付け穴は浅いので（写真左）、0.5ミリのドリルで深くしておきます（写真右）。

そのままでは自立しません（写真右）
人形の足の裏をヤスリで平らにして、自立するようにしておくと良いでしょう（写真左）



2 船体の組み立て

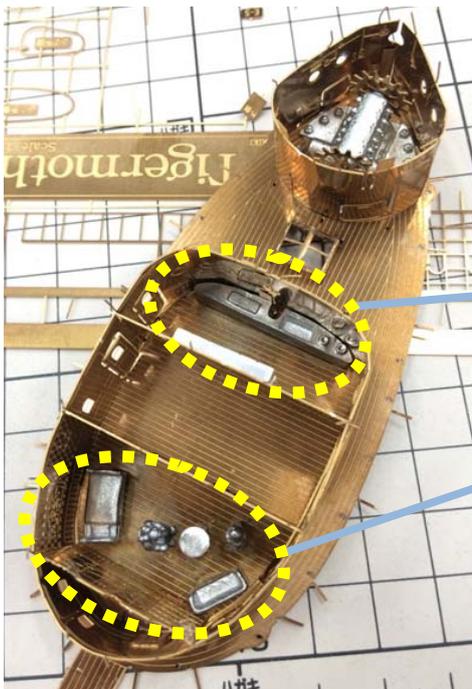


いよいよ組み立て開始です。

最初は甲板部分からで、後部に天窓とエンジンを接着します。



最初の難関、船室の壁を組み込みます。
あせらず時間をかけて甲板のラインにあわせて曲げていきます。
このとき、フェルトペンなどの丸棒や小瓶などを
治具として使うとよいでしょう。



キャビン内キッチン

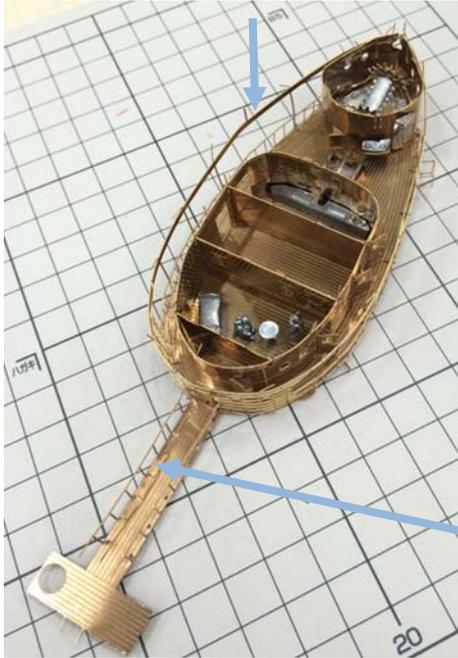


キャビン内ベッドルーム



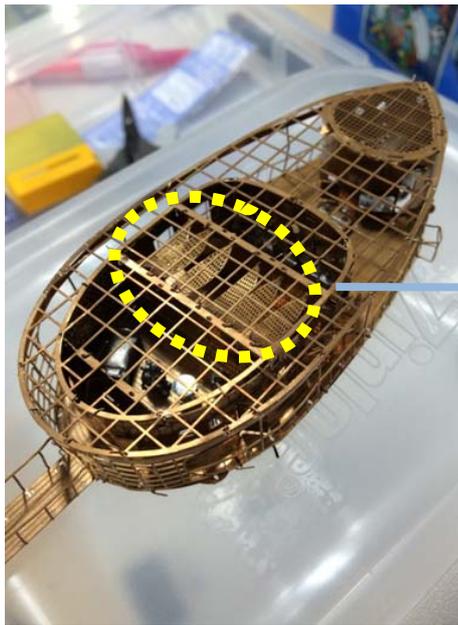
メタル製部品を接着した様子です。

瞬間接着剤は固まる時に白い跡が残ることがありますので、
【低白化タイプ】の瞬間接着剤を使うときれいに仕上がります。



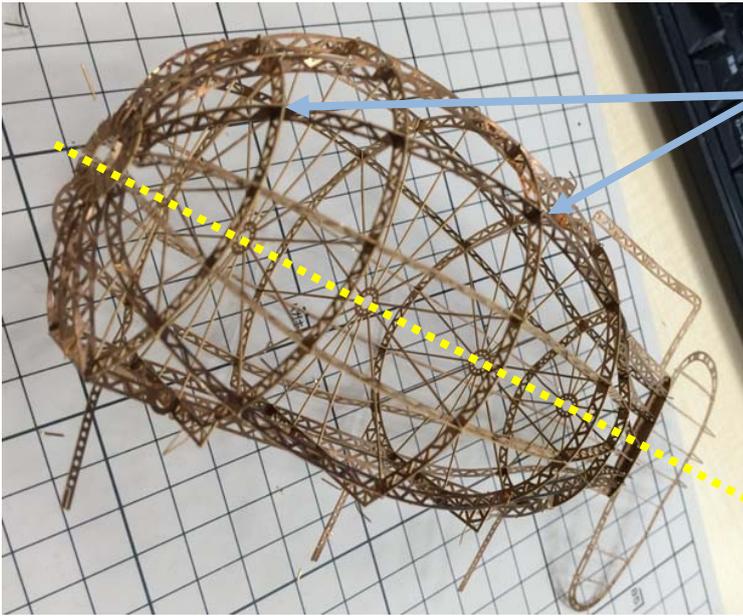
慎重に手すりを取り付けます。

通路の手すりを直角に立てる作業も慎重に。
定規などを当てながら
少しずつ曲げると良いでしょう。



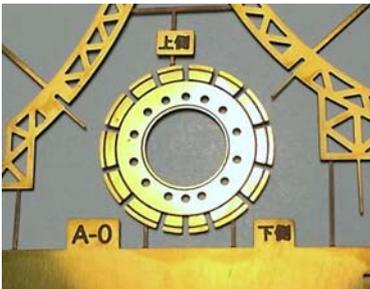
天井格子パネルに食料やハンモックを吊るしてから、慎重にヒゲを通し、曲げて固定していきます。

3 気球部分の組み立て

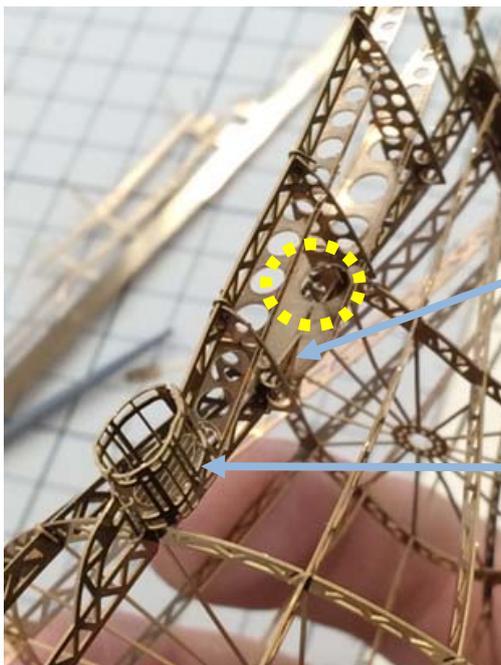


気球部トラス構造部分ですが、
ここは慎重に進めればそれほど難しくありません。
噛み合わせがきついときは、
歪みなどが原因です。

付属の真ちゅう棒を差し込み、
中心がぶれていないか確認しながら
作業するとよいでしょう。



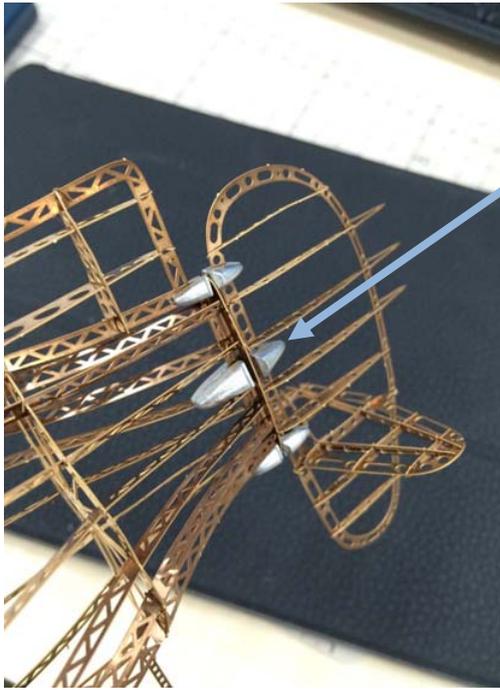
気球最前部の円形部品（A-0）には
上下がありますので、
向きを間違わないように注意してください。



背びれ桁部品A-8の前端の縦のスリットが
センターキール（※部分）に干渉しますので、
指示した箇所を上になん少曲げてから差し込みます

※

見張台は小さいので慎重に曲げる必要があります。



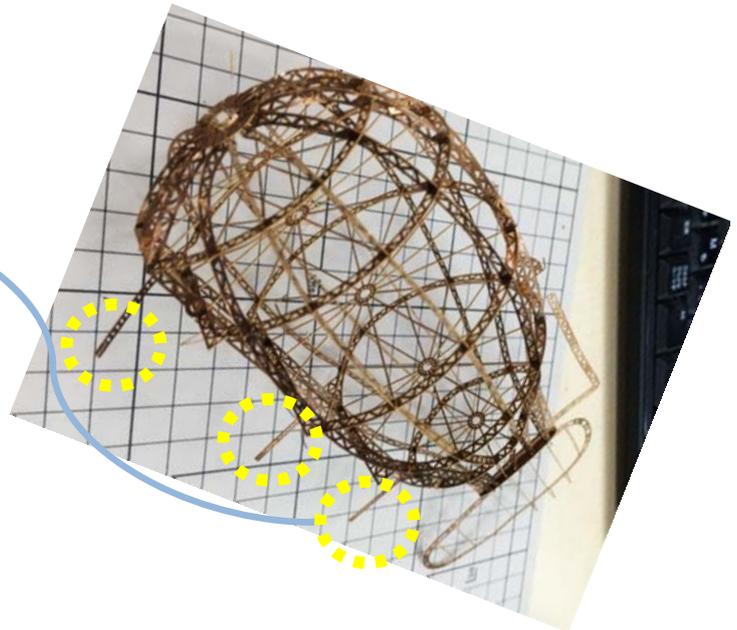
尾翼ジョイントを固定します。

このとき、メタル製部品がヒケていると付きにくいので、ヤスリで接着面を平らにすると作業が楽です。



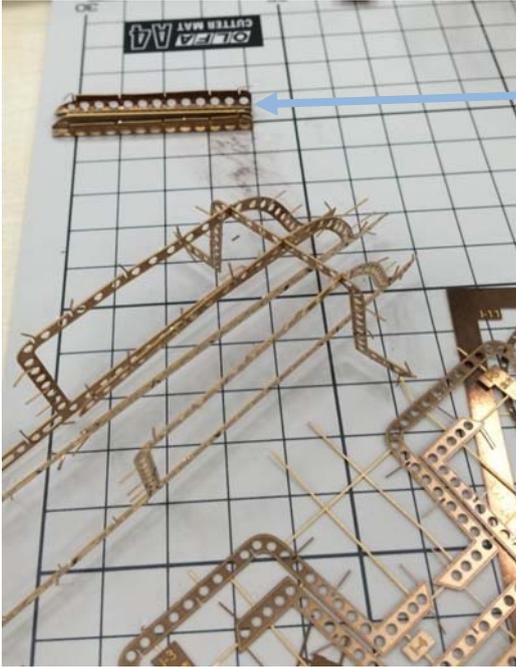
最大の難関のひとつ、船体と気球部分の固定です。

ここはとにかく慎重に。

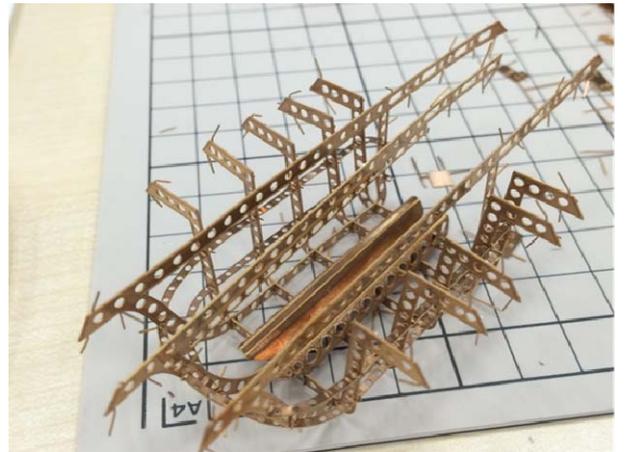


気球の下側の三本の柱が、船体上部のスリットにうまく入らないときは一度取り出して角度を調整してください。一度ではなかなかうまく入りませんが、角度が合えば必ず入ります。根気の勝負です。

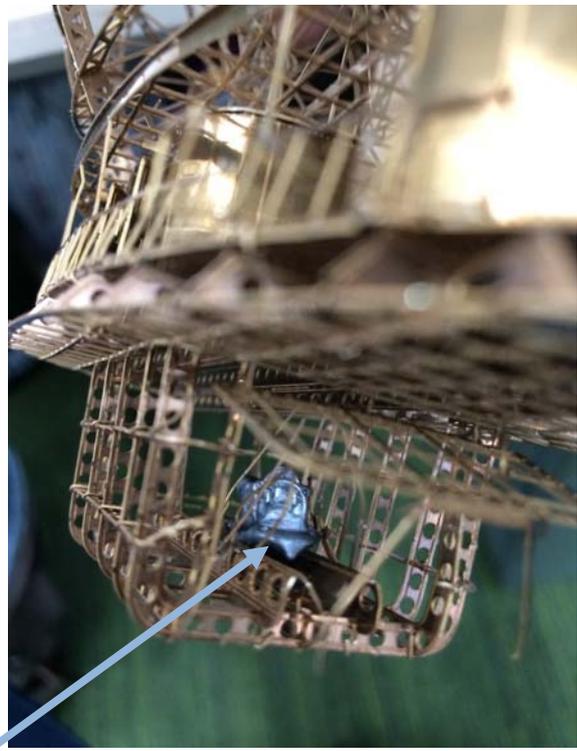
4 格納庫とフラッパー



フラッパー格納用レールはM字形に折り曲げますが、金属製の定規などを当てて注意深く曲げるとよいでしょう



フラッパー格納庫の組み立てです。
縦方向の主桁と横方向のリブとの組み合わせは、各部品が細く曲がりやすいので慎重に組み立てましょう。



フラッパーを格納するときはここで接着します。こうやってみるといい感じですね。
タイガーモスの見せ場の一つです。



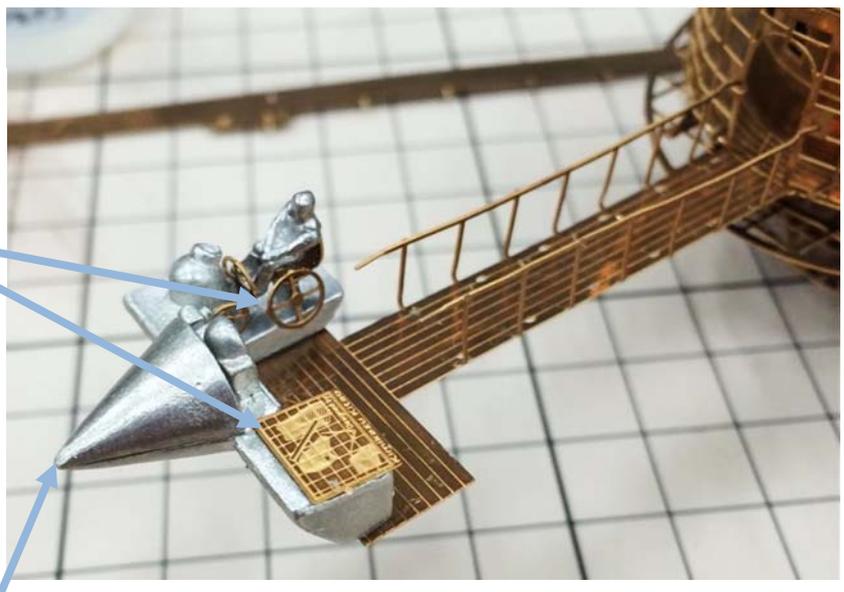
最初に穴を開けたフラッパーの胴体に、
後部手すりと主翼を取り付けます。

主翼はJ-1（左）、J-1'（右）が前側、
J-2（左）、J-2'（右）が後ろ側です。
(格納庫に入れるときは主翼を後ろに折り曲げます)

5 操縦室の組み立て

操縦室の組み立てですが、ここもタイガースの難関のひとつと言えます。

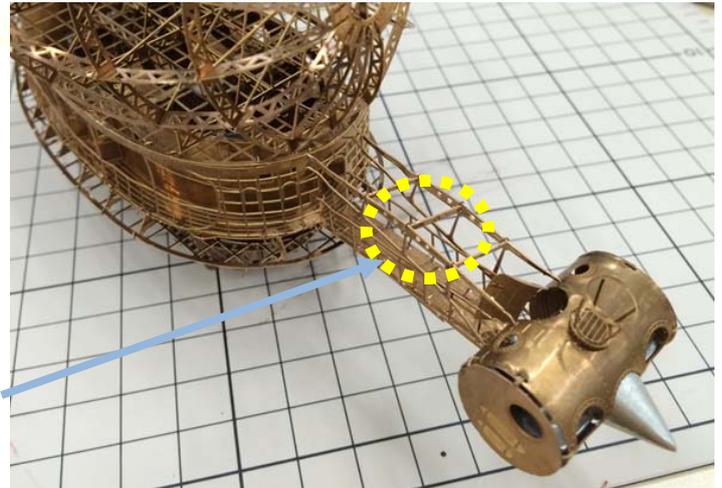
低白化タイプの瞬間接着剤を使用して
各部品を固定していきますが、
接着面をヤスリで削って平らにしておく
とうまくつきます。



メタル製部品の性質上、ノーズコーンの三角錐もすき間がしやすいのでヤスリで削り、
すり合わせを先に行なってすき間が出ないようにします。



操縦室の部品を丸く曲げて
組み立てていきます。
慎重にヒゲで固定します

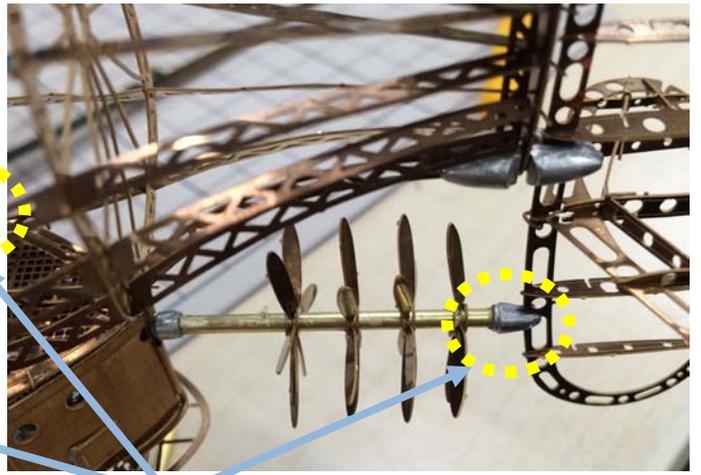


通路の梁の組み立てはけっこう大変ですが、
多少は曲がっても真ちゅうの場合は修正がききますので
時間をかけて作業しましょう。

6 主翼の組み立て



主翼の組み立てです。ここまでくればあとはカンタンです。



真ちゅう棒とメタル製部品の固定ですが、先にメタル製の翼端部品の穴と真ちゅう棒との
はまり具合を確認してください。きつい場合はドリルなどで穴を広げてください。



主翼支持部の関節部は、1ミリの真ちゅう線、または銅線などを使って固定するとよいでしょう。
作例は銅線を使用して固定してあります。これで完成になります。